

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】情報メディアと現代社会・経済	講習形態	講義
開設者	長崎県立大学	定員	50名
開設日/時間	令和3年10月16日(土) / 8:55~16:10	会場	長崎県立大学シーボルト校西棟1階 W102講義室(西彼杵郡長与町)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	全学校種 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 河又貴洋 (国際社会学部) / Eメールアドレス:t.kawamata@sun.ac.jp / TEL: 095-813-5106			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい： 教員免許「中学/社会」「高校/公民」を対象としながらも、教職に携わる者として、現代社会の構造と変動をグローバルな観点から理解し、地域(リージョナル)や地方(ローカル)が如何にグローバル社会と相互依存・作用しているかを紐解くための今日的視座を得る。 講習方法： 講義形式で行う。 講習到達目標： グローバル社会を理解するための社会学及び政治・経済学のいくつかの重要な概念および基礎理論を理解し、それを基に今日の社会・政治・経済問題を解くアプローチを修得する。ソーシャル・メディアによるグローバル/ローカルなコミュニケーションや社会の現状を把握し、その文化的影響を考える。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： 社会経済活動のグローバル化と情報通信技術の革新に伴い、いまやヒト、モノ、カネのみならず情報が容易に国境を越え、「グローバル化する情報メディア環境」が出現する一方で、人々の関心は偏狭な自己充足的な次元に矮小化し、社会的分断が発生している。この新たな情報メディア環境に対する政治経済的な理解と社会情報を読み解くメディア・リテラシーの涵養について社会科学の観点から多角的に考察する。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~ 9:00	河又貴洋
	講義1【情報化とグローバリゼーション】(途中10分休憩)	9:00~11:40	河又貴洋
	筆記試験1	11:40~12:10	河又貴洋
	昼休憩	12:10~13:00	
	講義2【メディアとグローバル社会】(途中10分休憩)	13:00~15:40	河又貴洋
	筆記試験2	15:40~16:10	河又貴洋
キーワード:(グローバリゼーション) (情報ネットワーク) (グローバル・コミュニケーション) (ソーシャル・メディア)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	教科書は特に指定しないが、参考書として以下の文献を推奨する。 ジャン・クリストフ・ヴィクトル著/鳥取絹子訳(2015)『最新地図で読む世界情勢』、 (2012)『地図で読む世界情勢』河出書房新社(第1分冊：激変する経済とEU 危機、第2分冊：情報革命と新しい国境) パラグ・カンナ著/尼丁千津子・木村高子訳(2017)『「接続性」の地政学—グローバル リズムの先にある世界(上・下)』原書房		
各自で準備するもの	特になし		
受講上の注意	1. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 2. 遅刻は原則として認めません。		